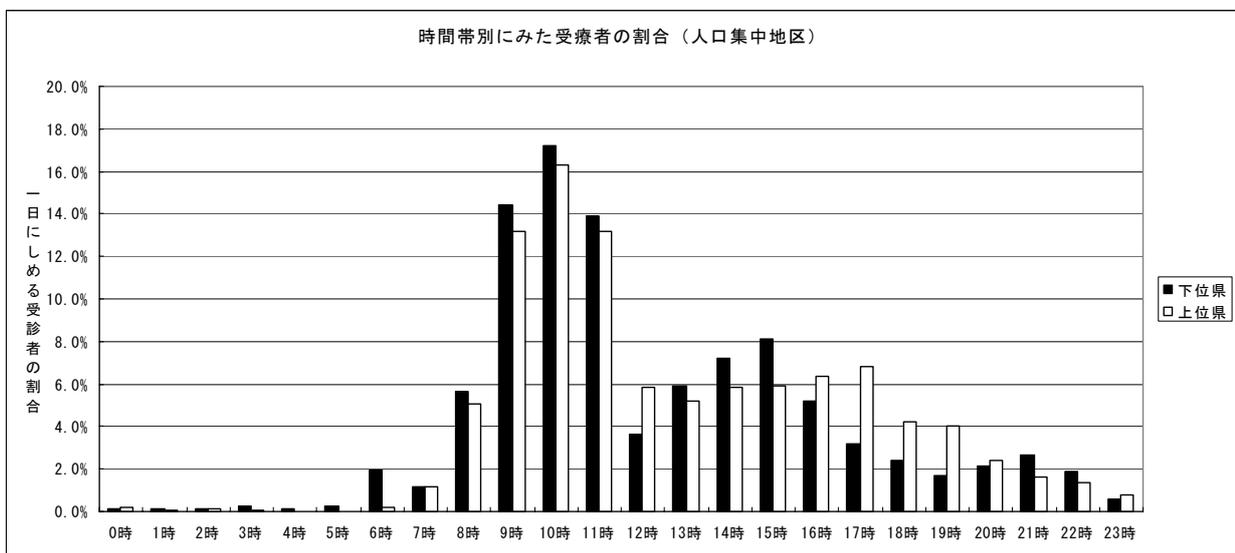
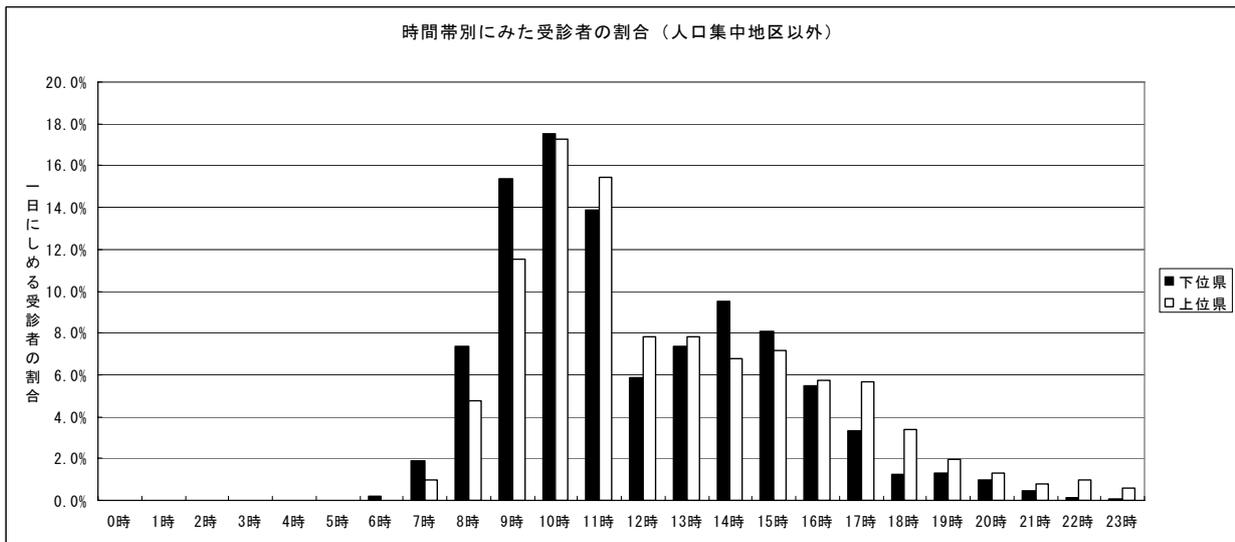


勤務医の負担軽減策について②

—診療所の夜間診療—

(参考資料)

図表 1 地域別に見た住民の受療行動



（出典） 総務省「平成 18 年社会生活基本調査」

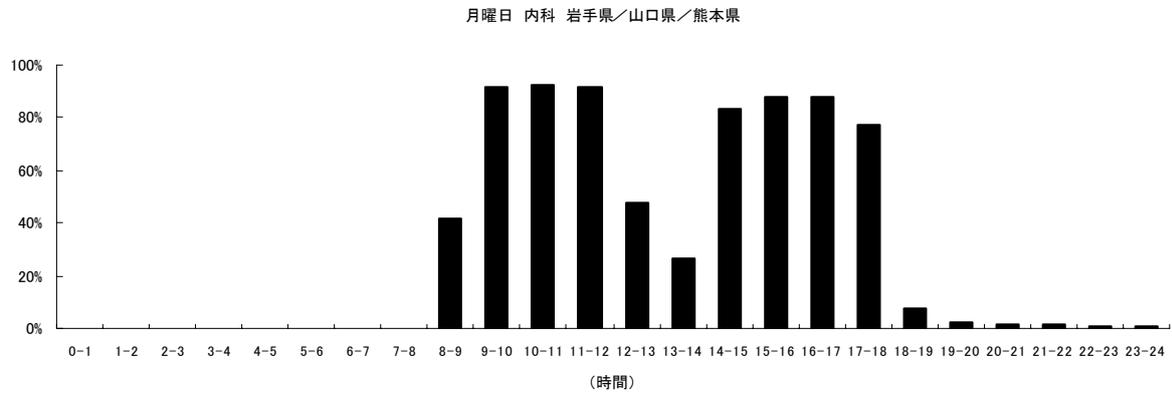
※ 社会生活基本調査の結果に基づき、各地区における人口によって加重平均した。

※ 人口集中地区とは基本単位区を基礎単位地域とし、市区町村の境域内で人口密度の高い基本単位区（原則として人口密度が1 km²当たり 4,000 人以上）が隣接し、それらの地域の人口が平成 17 年国勢調査時に 5,000 人以上を有している地域をいう。

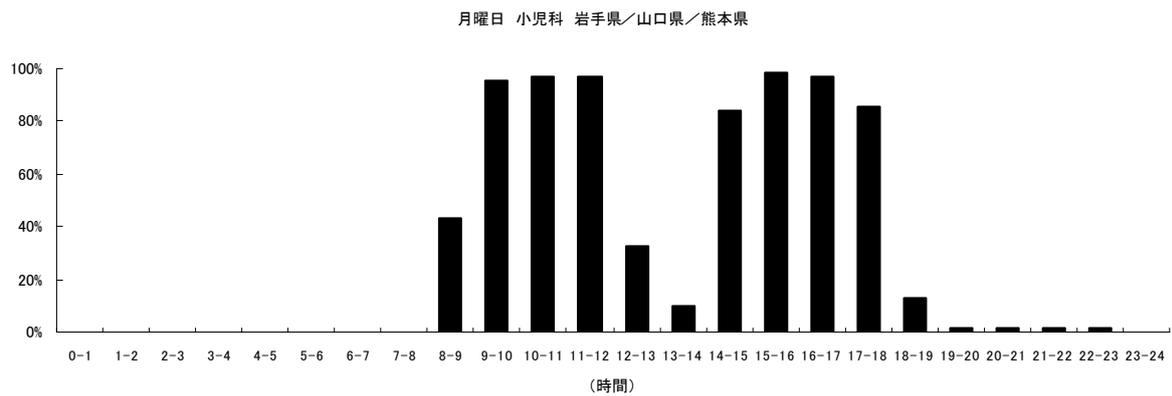
平成 17 年国勢調査結果に基づき、調査区ごとに人口集中地区か否かを区分している。

図表2 診療科別にみた時間毎の開業割合（下位県）

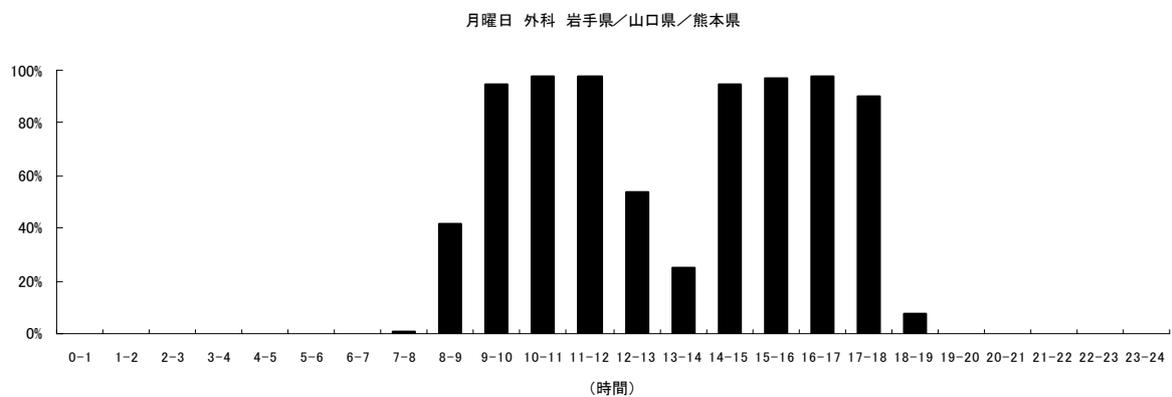
内科



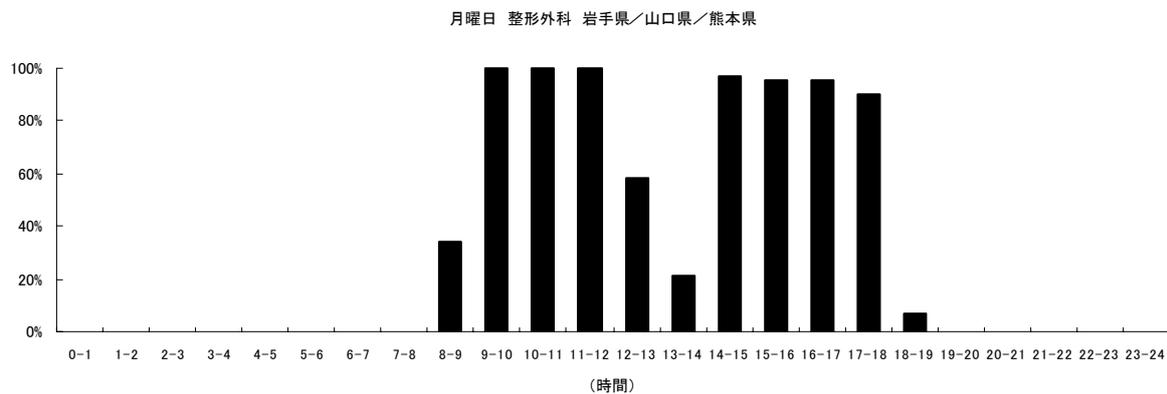
小児科



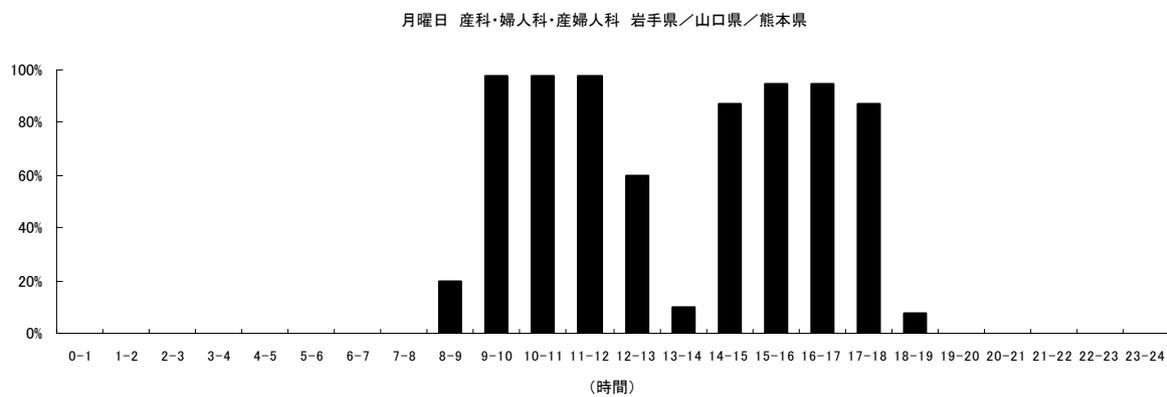
外科



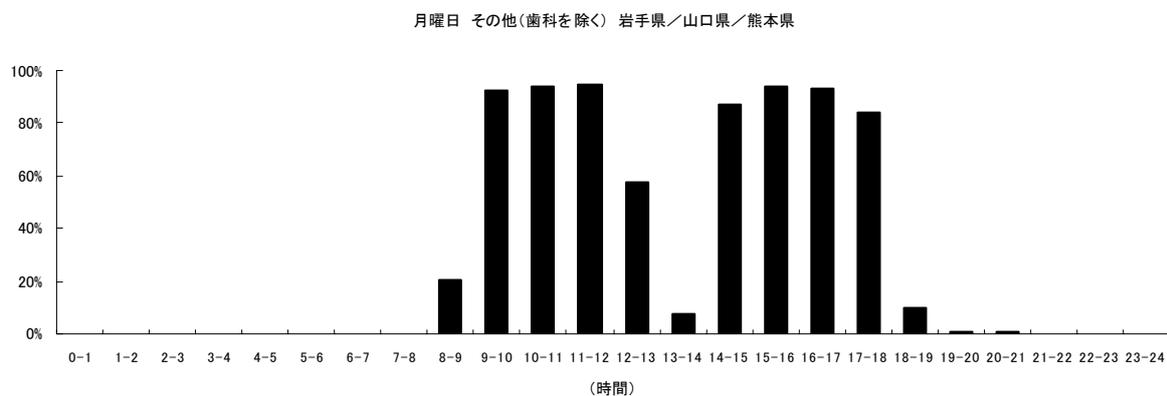
整形外科



産婦人科



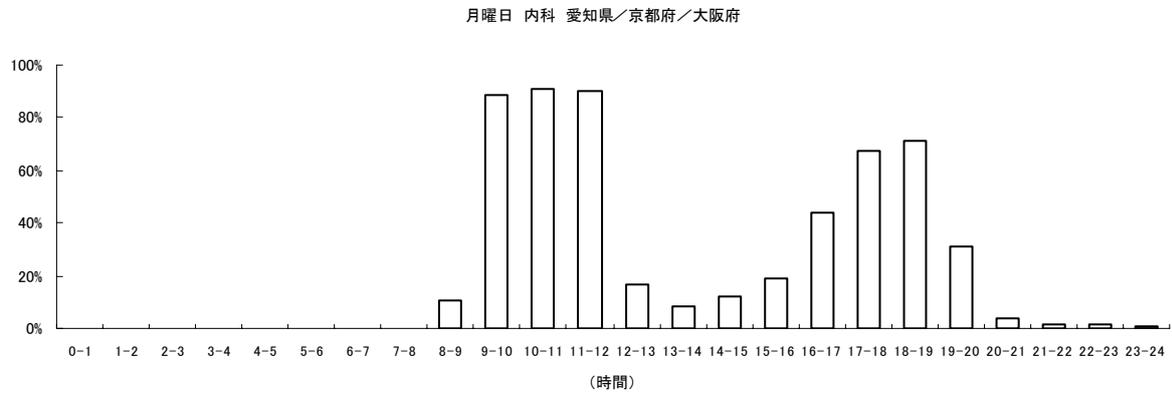
その他（歯科を除く）



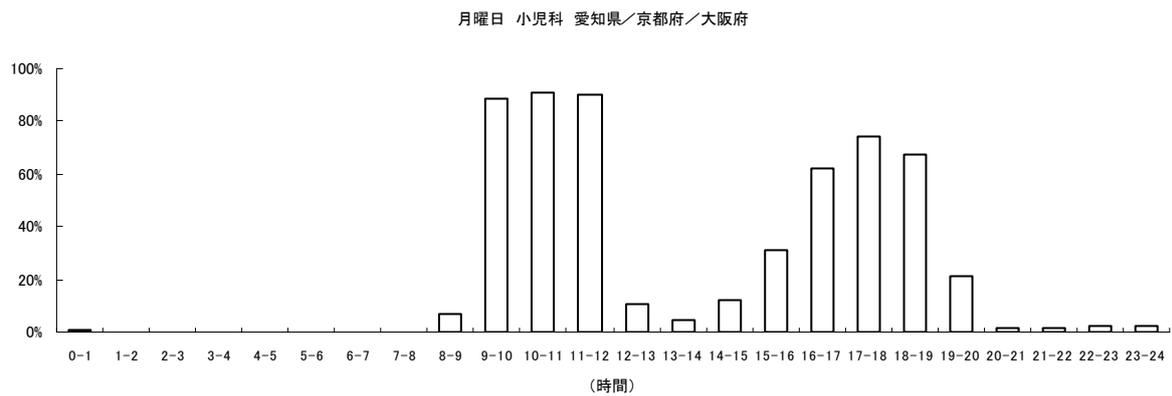
(出典) 保険局医療課調べ

図表3 診療科別にみた時間毎の開業割合（上位県）

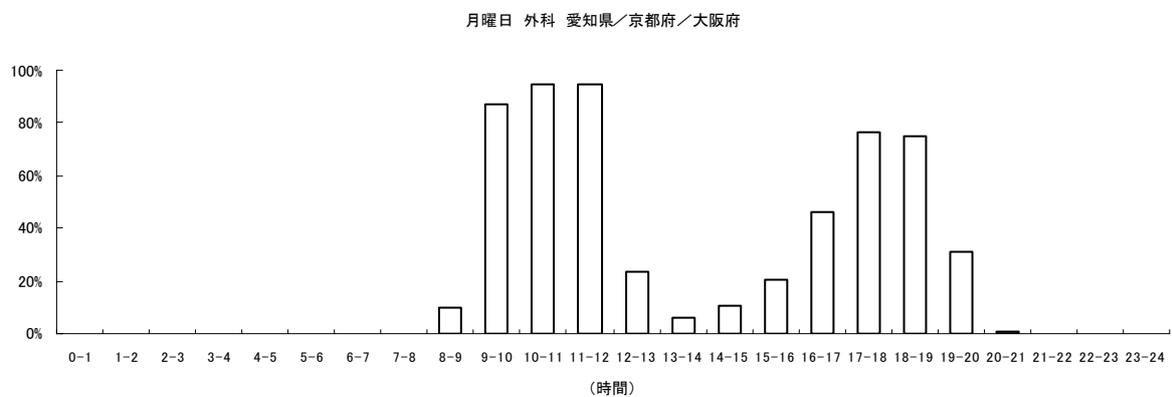
内科



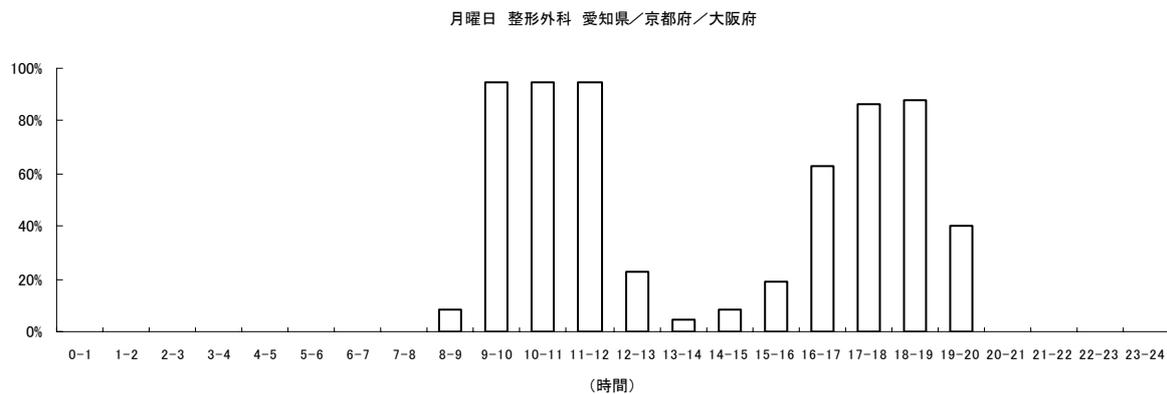
小児科



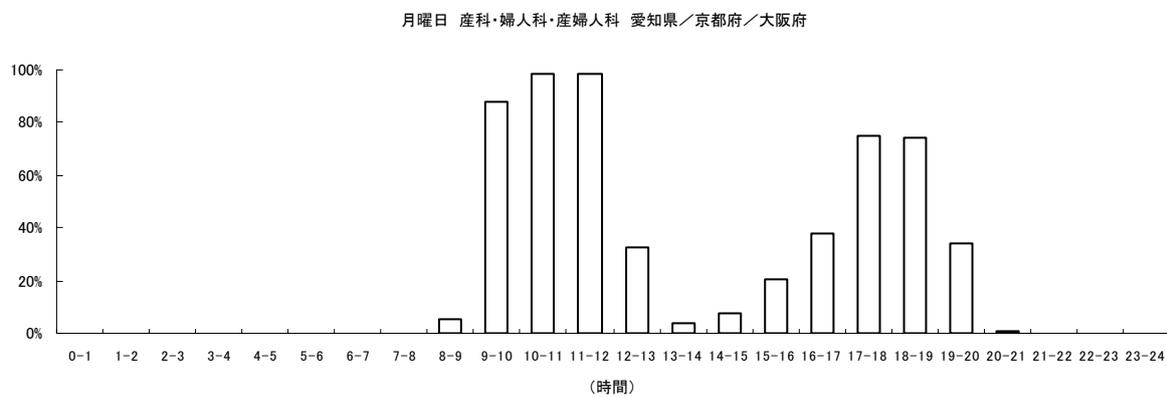
外科



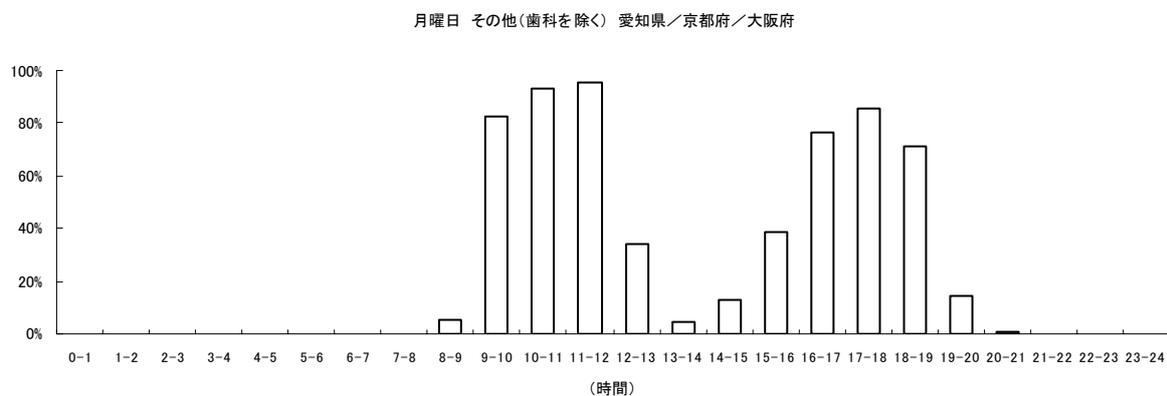
整形外科



産婦人科

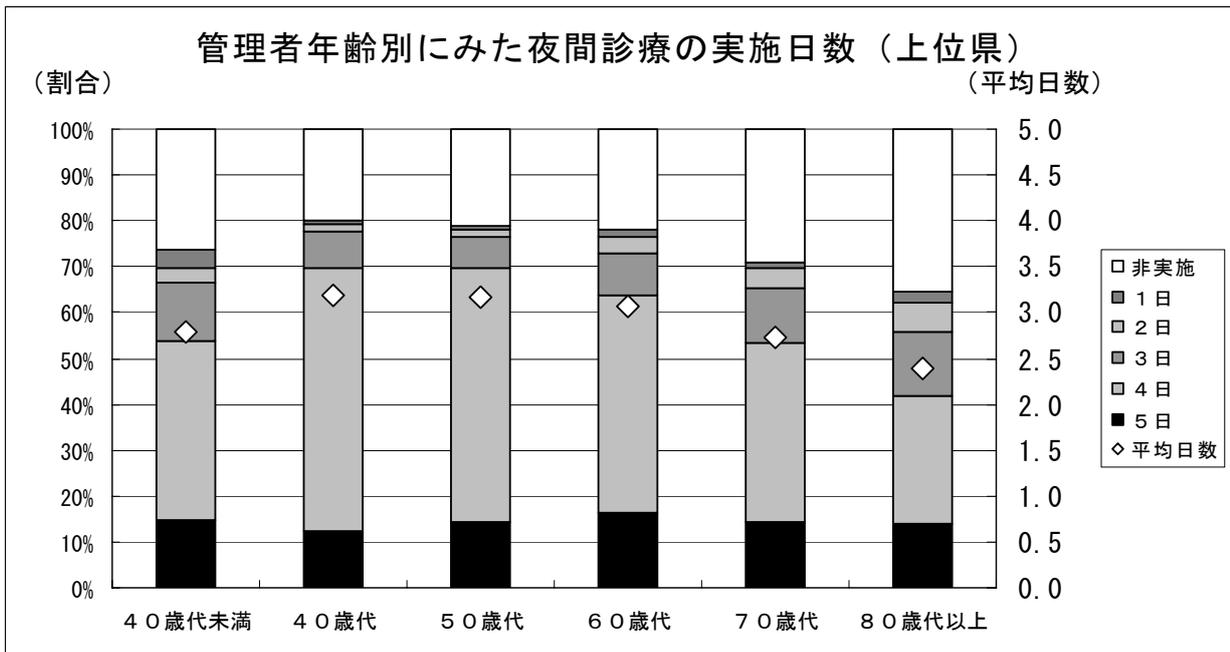
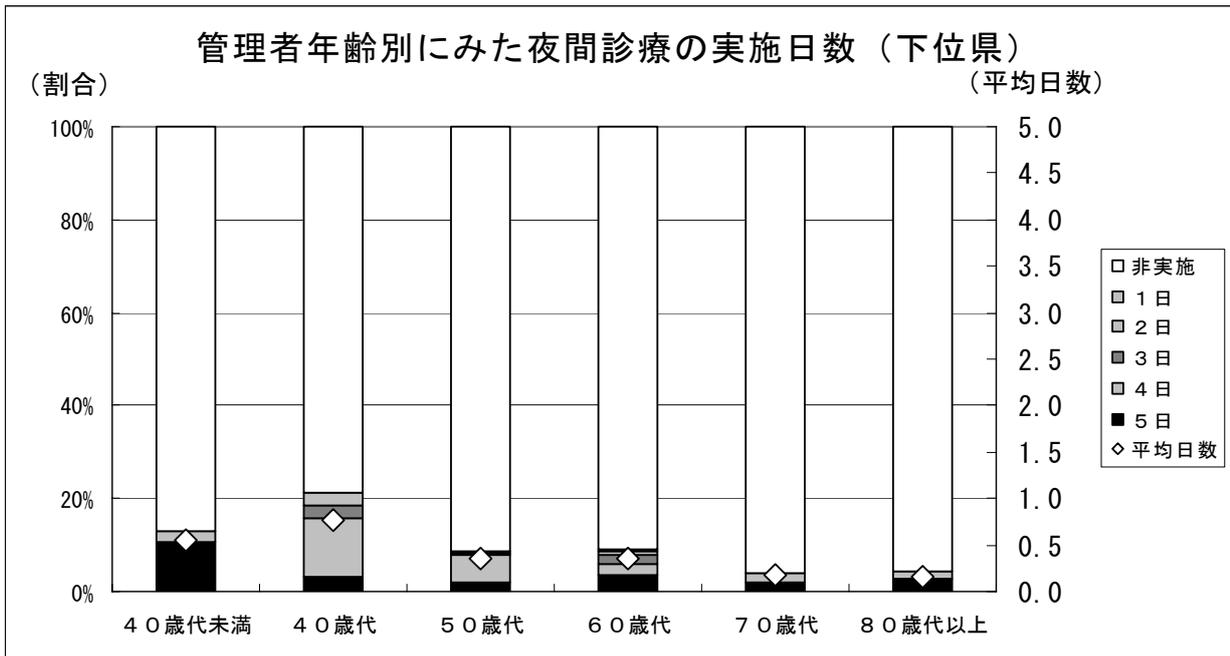


その他（歯科を除く）



(出典) 保険局医療課調べ

図表 4 管理者年齢と夜間診療の関係



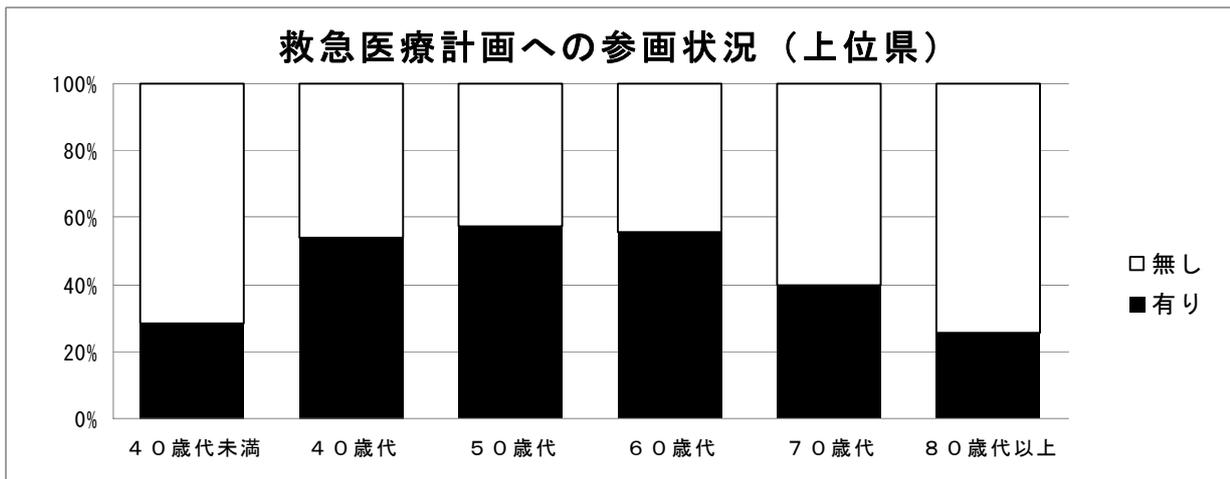
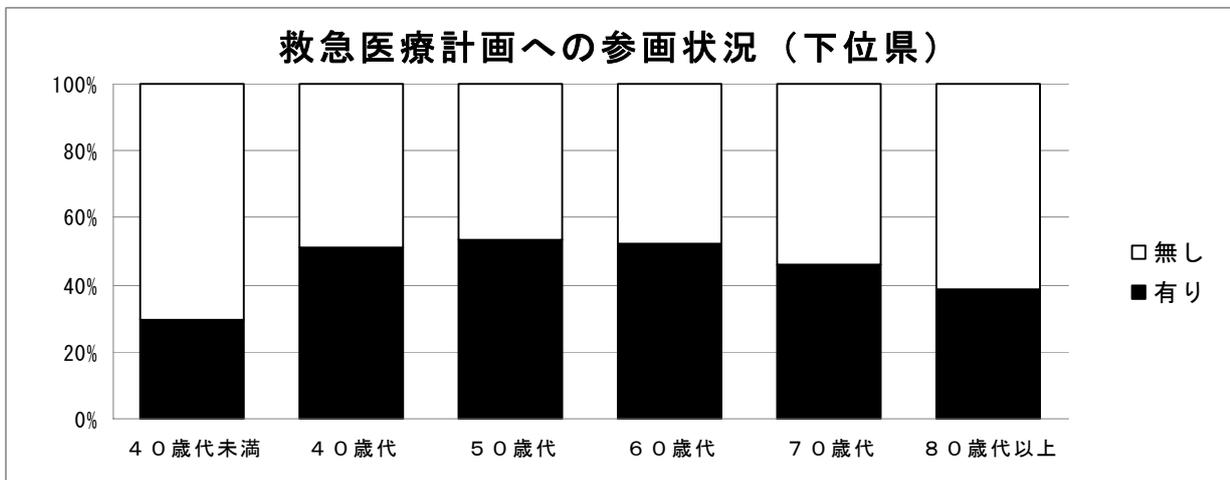
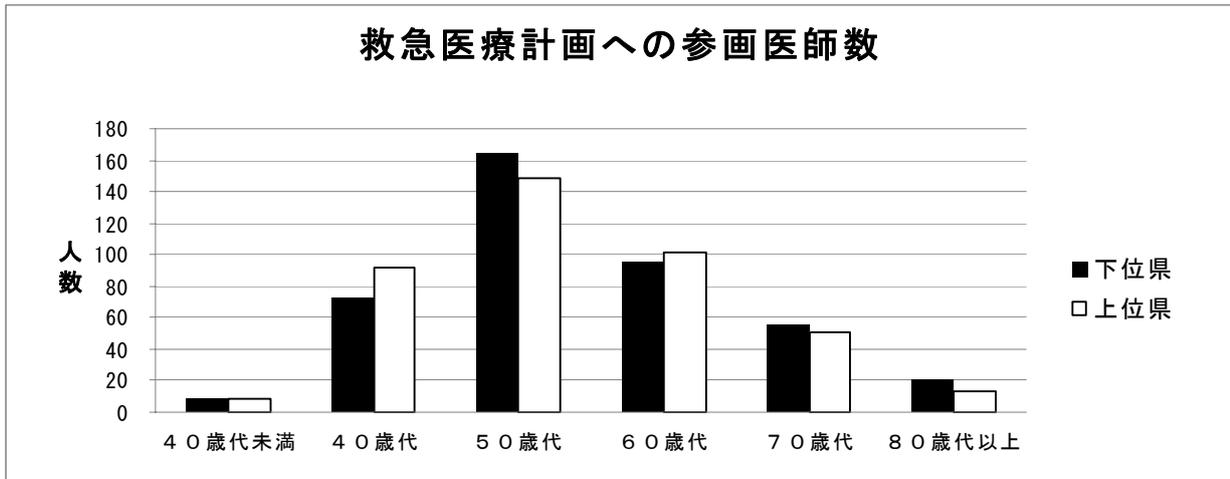
管理者年齢別の夜間診療の平均実施日数

管理者年齢	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
下位県	0.6	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2
上位県	2.8	3.2	3.2	3.1	2.7	2.4

(単位：日)

(出典) 保険局医療課調べ

図表5 管理者年齢と救急医療計画への参画状況の関係



※ 在宅当番医制への参加、休日夜間急患センター又は第二次・三次救急医療機関への応援を実施している場合を、救急医療計画に参画しているとした。

(出典) 保険局医療課調べ

図表 6 夜間診療の有無と休日夜間急患センター又は第二次・三次救急医療機関への応援状況の関係

下位県

夜間診療の実施 休日夜間急患センター 又は第二次・三次救急への応援の有無	実施している	実施していない
	有り	8
無し	101	886

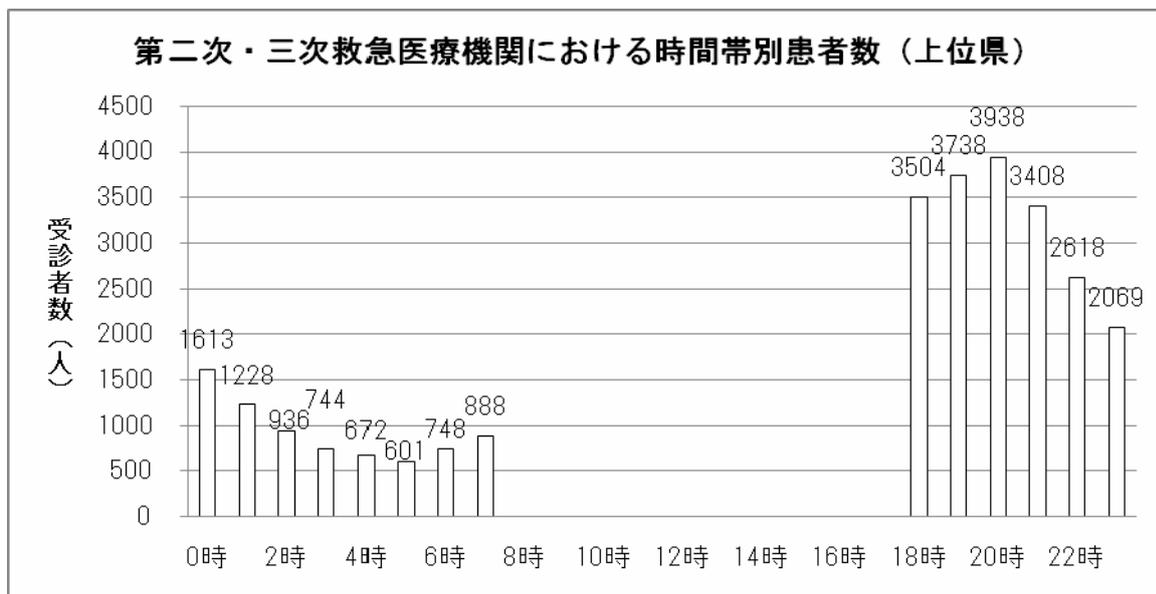
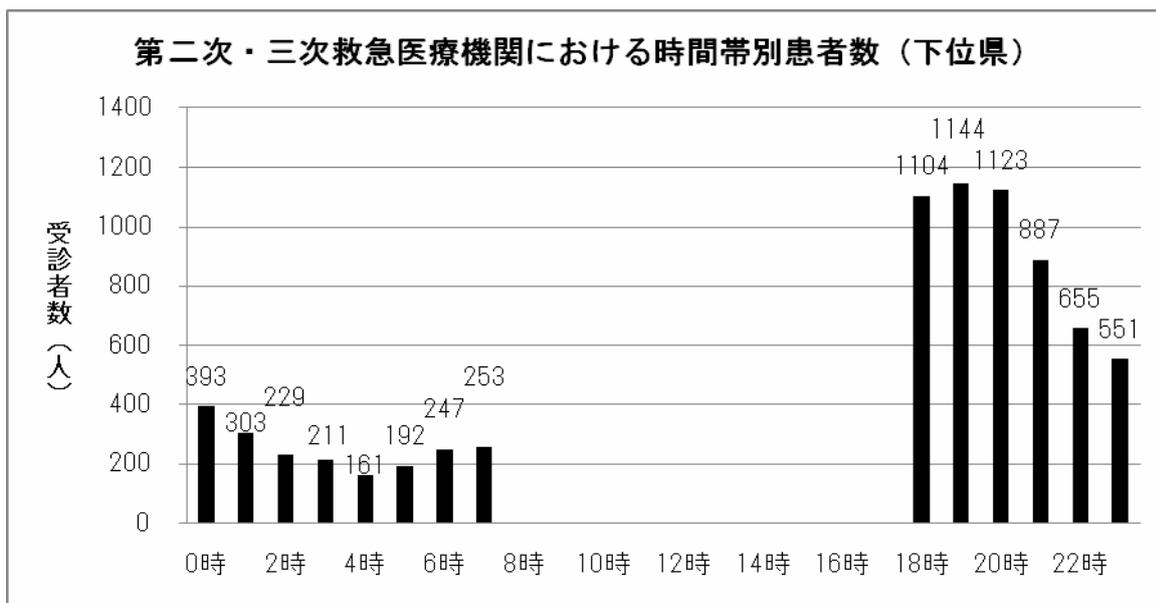
上位県

夜間診療の実施 休日夜間急患センター 又は第二次・三次救急への応援の有無	実施している	実施していない
	有り	233
無し	1372	496

※ 常態として平日に1日でも18時以降の診療を実施している場合を、「夜間診療を実施している」とした。

(出典) 保険局医療課調べ

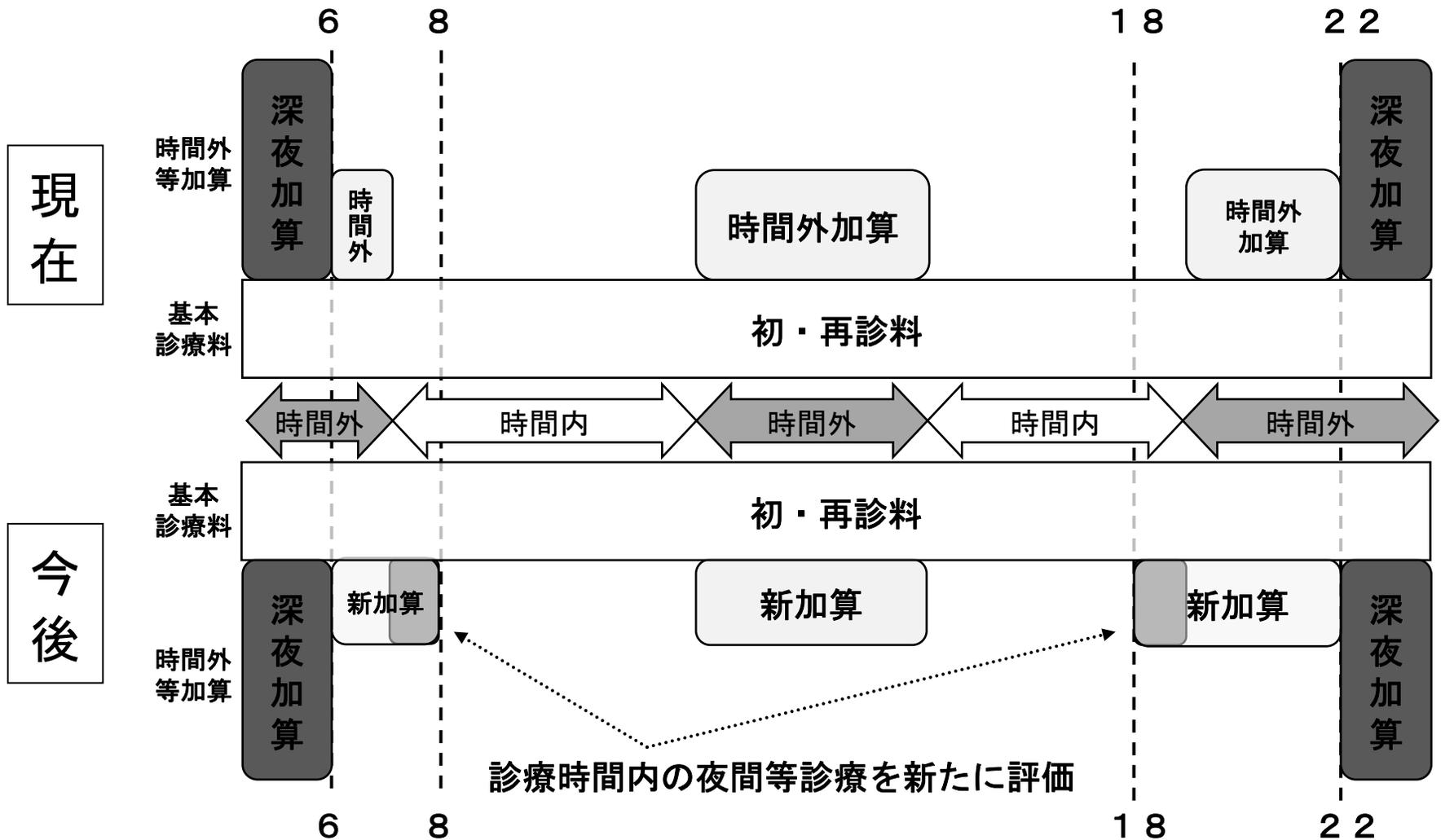
図表 7 第二次・三次救急医療機関における時間帯別患者数



（出典） 保険局医療課調べ

(緊急応需体制の概念を変更することによる)

時間帯ごとの基本診療料の変化



時間外加算の見直し

基本的に、開業時間であるかどうかにかかわらず、来院した時間帯によりそれぞれの加算を算定することとする。